



Ovaltoneの初期のブースターオーバードライブMERKAVAはその力強く素直なブースト感と、ブースト音に対する調整の多彩さでユーザーから評価されたモデルでした。

その後派生モデルとしてベースへの対応を意図したMERKAVA MK.2、クリーンサウンドに特化したUB-C3、セッティングに迷うことなくジャストなゲインブーストが得られるUB-G4というモデルも誕生しました。

MERKAVA OVERDRIVEはもう一度原点に戻り初代MERKAVAの復刻、改良版として誕生しました。

単体オーバードライブとしての使用の幅やブースト感の範囲を広げるOVERDRIVEモードや、より扱いやすい操作範囲と変化にアップグレードしたTONE、アルミ削り出し筐体になったことやパーツ、半田等のアップグレードによってより細かな階調を得たサウンドの奥行きなど、初代の時点では到達出来なかったサウンドを体現しています。

重量:約450g サイズ:(W)95 x (D)113 x (H)54 ※単位mm/突起含む
電源:9Vアルカリ電池、あるいは安定化済みのACアダプタ、パワーサプライ(DC9V、センターマイナス2.1mm) 消費電流:約26mA

フットスイッチ

オンオフスイッチです。オフ時はトゥルーパーバイパスです。

ノブ、トグルスイッチ

ノブ

ゲイン調整ですが12時方向くらいまではゲインというよりも音のハリやEQ的な動きになります。その範囲ではモードとの組み合わせで積極的にクリーントーンを作っていくような使い方も可能です。

12時以降はよりゲイン感や押し出しが上がってくるのでブースターとしてはブースト時の押し出し具合や質感を調節し、

単体のオーバードライブとしては通常のゲインつまみのイメージで使用可能です。

TONE

上げると高域が出ます。下げると高域が下がります。

LEVEL

出力音量を調節します。NORMAL/BOLD、FLAT BOOST/MID BOOSTのモードでは、通常のエフェクターよりも出力が大きく出ています。後段の許容に合わせて適度な設定がおすすめです。

CLIPPED、OVERDRIVEモードでは音量が下がりますが、それでもエフェクターとしては大きめの出力になっています。

右トグルスイッチ(左右に動きます)

OVERDRIVE

エッジのあるドライブサウンドが得られます。単体では鋭いクランチサウンドを作るのに適しています。ブーストでは倍音の細かいサクサクした質感を狙う際に有効です。左のCLIPPEDモードと組み合わせれば粘りのあるオーバードライブが得られます。

FLAT BOOST

文字通りフラットなブースト感のモードです。GAINを上げて行くとミッドのハリが強くなっていきます。

MID BOOST

FLAT BOOSTモードよりも中域のブースト量が多く、音量感も大きいモードです。

左トグルスイッチ(左右に動きます)

CLIPPED

リミット感が強く、柔らかい歪みも得られるモードです。アタックの凸凹を抑えたい時や、OVERDRIVEモードでよりスムーズで粘りのあるオーバードライブを作るときに最適です。

BOLD

アタック瞬間の芯の部分を太く残したモードです。グリッ、ポリッといった質感を残したい時に最適です。

NORMAL

基本的なモードです。

※内部にて昇圧を行っておりますので、電源電圧は9VDCにてお願い致します。
(9VDCの規格であれば多少高い電圧のものは許容します)